

電力の消費は、季節によっても、また、1日のなかでも昼間と夜間とでは大きな差があります。このような電力消費の変化に対応し、安定した質の高い電気とするために、水力、火力(石油、ガス、石炭など)、原子力等の各種電源をバランス良く組み合わせて発電が行われています。

これを電源のベストミックスとといいます。

水力発電は、他の電源と比較して「非常に短い時間で発電開始(3～5分)が可能」「電力需要の変化に素早く対応(出力調整)が可能」という特徴があります。このような特徴を生かして、調整池式・貯水池式・揚水式はピーク供給力として、無くてはならない重要な役割を果たしています。

水力発電は、資源の少ない日本の貴重な純国産自然エネルギーです。

